

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）  
令和2年度採択テーマ  
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
山地流域における水文・地形プロセスのモデリングに基づく土砂移動現象の発生場・降雨閾値・生産土砂量の定量的評価 (研究期間：R2年度～R4年度)	京都大学 教授 松四雄騎	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>本研究では、山地流域内の、どこから、どれほどの土砂が、どのような雨によって生産されるのかを定量的に算定しうるシステムを開発する。侵食過程としては主として表層崩壊を対象とし、侵食予備物質としての土層の厚みの空間分布を、地理情報システム上での土層発達シミュレーションによって推定したうえ、降雨の進行に伴う不安定領域の拡がりを、降雨浸透－斜面安定カップリングモデルによって計算できるツールを構築する。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究では、表層崩壊の発生場所、規模、時刻の予測を目的に、素因条件と誘因条件を精緻にモデル化した斜面ハザード評価システムを構築した。これにより土層の除去・回復のサイクルシミュレーションから流域の生産土砂量の確率論的評価が行えることから、流域単位の土砂生産量を評価する手法として活用が期待できる。</p> <p>今後は、個々のパラメータの範囲や結果への影響について検討を進めていただきたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い